

平成 29 年度一般社団法人全国避難設備工業会第 4 回理事会議事録

- 1 日時 平成 30 年 3 月 14 日(水) 13 時 30 分～ 14 時 54 分
- 2 場所 東京都港区西新橋1丁目6番15号
NS虎ノ門ビル AP 会議室 3F Jルーム
- 3 役員現在数 13 名(うち監事 2 名)
- 4 出席者 菊池信会長、小池秀太副会長、齊田啓子副会長、生貝英樹常務理事、
重盛弘子理事、平野清治理事、上田勝也理事、喜田安紀理事、
前田善衛理事、笹嶋敏之監事
事務局 神山宏保氏
欠席者 佐藤康雄理事、富岡陽監事
- 5 議事の経過
(ア) 開会
 - ① 13 時 30 分 生貝事務局長より開会宣言
 - ② 菊池工業会会長より挨拶
本日開催の理事会の趣旨について
 - ③ 生貝事務局長より理事の出席状況報告
出席者数が定款第 34 条の定足数を満たし理事会が成立していること、佐藤
康雄理事、富岡陽監事の欠席についての報告
定款第 33 条により、菊池会長が議長となり、議事に入った。
- 6 議案の内容及び議決結果
第 1 号議案 平成30年度事業計画案及び平成30年度予算案について
議長の指名により、事務局から資料 1 を用いて、平成30年度事業計画案及び平成30年度予算案についての要点について説明があった。平成 30 年度事業計画案については、30 年度に開催される防災展の出店を軸に、普及宣伝を強化し、既存案件の改修や新たな点検器具の製作を目的とした研究、また、取り扱いの誤りによる避難器具の事故を未然に防ぐことを主眼とした講習の実施、外部への PR として SNS を使用した情報発信を行っていくことなどを盛り込んだことが説明された。収支見通しについては収入見通しが負担会費、事業収入であるハッチ認定とハッチ認証数が増加の傾向にあり、前年より増収となる見込みであること、支出見通しが防災展出展による小間代の先払いはあったが、事業費支出のうち未着手が多いことや退職による給与の支出減等により支出が抑えられた点などで、年度末の見通しでは前年を若干上回る実績見通しとなっていることの報告があった。それを踏まえた上での来年度予算は、収入面に関しては、景気指数及び動向などからの想定で、避難器具用ハッチの認定数量及び、負担会費である検定・認定の数量については昨年より増収とした。また、型式承認については避難器具用ハッチは 2 型式程度を盛り込んだこと、開発費として、安全センターからの助成を受ける予定があることによる収入予算の増加想定が説明された。支出面は、引き続き開発を行う予定である点検器具にかかる研究費、社内インフラ整備および移転

費用などによる支出増などを盛り込んだものとされた。特に質疑はなかったので、議長が第 1 号議案の平成 30 年度収支予算書案の承認について諮り、全員異議なく別紙事業計画案および予算書のとおり可決承認された。続いて議長が当該案を理事会の決議事項として総会に報告することを諮り、原案通り可決承認された。

第 2 号議案 工業会会長表彰規程及び工業会会長表彰候補者について

議長の指名により、事務局から資料 2 を用いて、工業会会長表彰規程改定案の説明があった。表彰規程が平成 8 年の制定より改定されておらず、現状に則していないことおよび、申し合わせ事項として記録されている内容について細則として制定することなどの説明があった。特に質疑はなかったので、議長が第 2 号議案の工業会会長表彰規程改定について諮り、異議なく可決承認された。それを踏まえて、平成 30 年度の会長表彰推薦候補者について会長副会長会で承認された案に基づき、検討された。推薦候補者については特に質疑はなかったので、議長が工業会会長表彰候補者について諮り、原案通り可決承認された。なお表彰者については下記の通りである。

松本機工株式会社	執行役員埼玉工場工場長兼開発部長	佐渡山 肇
齋田産業株式会社	営業第一部部長	小出 佳男
ヤマトプロテック株式会社	課長	山村 幸子
上田消防建設株式会社	工務営業部第 2 課長	伊藤 美奈
モリタ宮田工業株式会社	課長代理	熊木 浩司
株式会社初田製作所	中部支社機器営業 2 課副担当グループ長	杉山厚二郎
株式会社消防科学研究所	技術部主任	鎌形 数真
三津浜工業株式会社	執行役員	大嶋 正樹
ナカ工業株式会社	主管	荒木 大輔
マレヤマエクセル株式会社	東日本営業所 東京グループ	高橋 誠
旭防災設備株式会社	専務取締役	渡邊 淳一
株式会社スエヒロ	営業	今川 裕之
株式会社カマタ興業		石橋 洋秋
シノハラ防災株式会社	設備部保守係長	古川 弘一
中央理化工業株式会社	保全部 係長	黒江 拓也

第 3 号議案 慶弔規程について

議長の指名により、事務局から資料 3 を用いて、慶弔規程改定案について、現在の慶弔見舞金規程にある弔慰について花輪 1 基とあるが、現実に則した形で生花または花輪等と改めるという内容で説明があった。改定案については特に質疑はなかったので、議長が慶弔規程改定案について諮り、原案通り可決承認された。

第 4 号議案 機器協会会長表彰候補者推薦及び消防関係業界功労者表彰候補者推薦内規について

議長の指名により、事務局から資料 4 を用いて、機器協会会長表彰候補者推薦及び消防関係業界功労者表彰候補者推薦内規についての説明があった。これは選考基準を明文化することで、透明化を図ることを目的としたもので、別紙のように

内規を定めることに対し、特に質疑はなかったので、議長が機器協会会長表彰候補者推薦及び消防関係業界功労者表彰候補者推薦内規について諮り、原案通り可決承認された。

以上をもって、理事会の審議は終了したことから、14時47分議長が理事会の審議終了を宣言、以降は事務局からの報告事項となった。

その他 報告事項

- ① 本年度の機器協会会長表彰については、資料5を用いて報告があり、会長副会長会で選考された旨の報告があった。表彰者は下記の通り。(順不同・敬称略)

上田消防建設株式会社	常務取締役	上田 浩司
ヤマトプロテック株式会社	課長	山田 裕幸
株式会社スエヒロ	松戸営業所長	石崎 博幸
- ② 避難器具用ハッチ警告シールの価格改定について報告があり、現在の在庫が5,000枚程度で、次回製作より概ね45円程度になることが報告された。承認は次回理事会にて諮ることとなった。
- ③ 安全センター助成研究について、試作品が完成し3月19日に富士産業(株)喜田専務と現地へ赴き、確認作業を行うことが報告された。
- ④ 東京国際消防防災展出展について、展示物アイデアを募ることが報告された。
- ⑤ 次回理事会は5月8日(火)、総会は5月22日(火)の予定であることが報告された。
- ⑥ 事務所移転計画は現在交渉中であることが報告された。
- ⑦ 防火防災協会より消防設備の取り扱いDVDが発売され、避難器具の取り扱いについても掲載されていることが報告された。

以上の決議を明確にするため代表理事及び監事において次の署名捺印をする。

平成30年3月15日

一般社団法人全国避難設備工業会

平成29年度第4回理事会に於いて

代表理事(会長) 菊池 信 (印)

監事 笹嶋敏之 (印)